

令和3年度 第1回学校関係者評価委員会 報告書

認定こども園かいけ心正こども園

園長 吉田 典穂

○評価日 令和3年6月23日（水）10:30～11:30

○場所 認定こども園かいけ心正こども園 会議室

○出席委員

学校関係者評価委員	所属
A委員	米子市立小学校 校長
◎B委員	米子市立公民館 館長
C委員	保育園 園長
D委員	主任児童委員
E委員	保護者会 会長

◎委員長

○園からの説明

(1) 令和3年度 教育推進の重点と実践について・・・別紙参照①

(2) 令和3年度 年間評価計画について

※新型コロナウイルス感染状況によって変更あり

○園からの説明に対して、学校関係者評価委員の皆様からの意見

【D委員】

・「ロボ団米子校」について、都会と違って地域的に月謝が高いと思うが、どれくらいの方が利用しているのか。

⇒今現在は、28名入会して頂いている。また、園の学童保育に在籍している児童は、“学童価格”で、月謝を割引している。小学校区に関係なく、米子市内の小学生だけでなく、鳥取市からも通ってきて頂いている状況である。

【C委員】

・新型コロナ感染者が減ってきているので、今年度自園でも行事を少しずつ行うようになった。昨年は、感染症予防の観点からなかなか園外に出ることはできなかったが、今年度は少しずつかいけ心正こども園と交流をお願いしたい。

・今年度は、小学校でも「オープンスクール」が行われたが、自園でも、かいけ心正こども園に入園する園児がいるので、入園前に来園させてもらい、入園してからの不安がないようにしていきたい。

・自園では、朝から夕方まで、子どもたちを園で預かっているが、保護者の方がどれくらい子どもと関わっているのか心配である。長時間保育では、保護者の方の要望に答える

反面、職員も長時間勤務になるので労働体制も整えていかなければならないので悩ましいところである。

【A 委員】

- 職員の働き方改革ということで、仕事の“やらされ感”の解消方法はどのようなものか。  
⇒全職員で、園についてのSWOT分析をし、自分たちで様々な取り組みや進む方向性を考える時間を持つようにしている。そのことが、“やらされ感”の解消につながっていると思う。
- 朝、玄関でネイティブ職員が「挨拶」を英語でされているということで、素晴らしいと思った。昨年度より、小学校でも3、4年生は外国語活動、5、6年生は外国語と教科になっているので、小学校に継続していると感じる。
- 『凡事徹底』は、小学校や中学校でもよく使われる言葉であるが、園でも意識して取り組んでいることは大切であると思う。
- 現在、『GIGAスクール構想』で、一人一台のタブレットを持つようになっているので、園で行っているプログラミング教室は、学校教育に通じるものがある。小学校では、教職員の中でもできる先生、苦手な先生と差がないように校内で職員研修を行っている。小学校に入る前に、アフタースクール等で経験している子どもは、小学校に入ってからもついていけるが、そうでない子どもと経験の格差ができるのではと危惧している。

【D 委員】

- 以前理事長先生より、「今年度は『わくわく感』や『園に行きたいと思える園』にしたいと話をして頂いた。先日、今年度初めての参観日で「サッカー教室」を参観させてもらい、とてもワクワクした気持ちになった。昨年度は、新型コロナ感染予防のためにほとんど行事がなく、今年は、できる範囲で行事を計画していただいているので、とても感謝している。これからも園に来る機会を作っていただきたい。

⇒園からの回答

上記のようなご意見を頂きましたので、本年度の園運営や保育に活かしていきたいと考えております。

以上